

令和5年度 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	Vivid English Communication II (第一学習社)
	補助教材：	hyper Listening Vivid workbook Big dipper レッスンブック 英文法ワークショップ

教科（ 外国語 ）の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目（ 英語コミュニケーションⅡ ）の目標

【知識及び技能】	基本的な語彙だけでなく、様々な分野で幅広く語彙力をつけることを目的にする。また、高校で習う文法を繰り返し指導をして、短文だけでなく、長文の中でも理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	教科書で習った項目を使って、自分の考えを書けたり話したりできる力を身に付ける。また、教科書で扱った社会問題などを理解して、そこから自分の考えを話せたり、伝え合ったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	課題をしっかりと取り組み、そこから自主的に勉強をする習慣を身に付ける。また、自分の取り組んだ課題から、さらに学ぼうとする姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	機械					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[や]	話[発]	書					
1 学 期	単元 Japanese Athletes and English	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				12
	知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。				
		スポーツに関する語彙力をつける。進行形、受け身、分詞を使った文を理解する。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。									
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現 課題の提出状況。				
		日常的な話題や場面を想定して、社会的な話題を題材にして、自分の意見を言うことができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面							主体的に学習に取り組む態度			
		外国で活躍している日本人アスリートの字ぶ姿から、自分たちがどのように学びを続けていくか考え、主体的に自己の課題に取り組む。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A L Tを前にしての発表。			
		定期考査（中間考査）/返却と解説							○	○	○	2
	単元 Our beloved yellow fruit	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				14
	知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。				
		絶滅の危機に直面しているバナナを通して、環境に関する語彙力を身に付ける。形式主語を使った文を理解できる。また強調形を使いこなす。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。									
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現 課題の提出状況。				
	バナナなどのなじみのある食べ物から病気の危険に類している。そこから、自分たちができることを、自分の言葉で話せ、また書くことができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面							主体的に学習に取り組む態度				
	身近な果物や、野菜などの歴史を知り、それが直面している問題を理解する。さらにそこから自分たちができることを考えて、解決策を考えて実行に移していくことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A L Tを前にしての発表。				
単元 Preparing for potential risks	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				14	
知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。					
	最近話題よくのぼる災害などに使われる語彙を身に付ける。グラフの読みを理解できる。完了形を使うことができる。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。										
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現 課題の提出状況。					
	ハザードマップに付け加えたら便利だと思うこと、また避難場所が必要とされることを英語で話せて、書けることができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面							主体的に学習に取り組む態度				
	今世界的規模で発生している災害をもう一度認識する。自分たちができること、また災害を減らすために日頃からしなくてはならないことを考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A L Tを前にしての発表。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説							○	○	○	2	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[言]	話[発]	書					
2 学 期	単元 To make a more open society	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。				
	国際化に関連する語彙力を身に付けて使えることができる。関係代名詞の制限用法と非制限用法を使えることができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						思考・判断・表現 課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○	
	思考力、判断力、表現力等	教材						主体的に学習に取り組む態度				
	外国から来た人たちがどのように関係を築いていけばいいのか、また社会をもっとオープンにするためにはどのようなことを念頭に置くべきかなど、英語で表現して発表することができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面										
	国際化社会と変わって久しいが、まだまだ日本は外国人と接することを避ける傾向にある。国際化している社会でどのようなふるまいをして、そのために英語が必要になってくるかを考え、取り組むことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。										
	単元 True love between a cat and a dog	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。				
	ペットやペットを飼うことなどについての語彙を理解できる。様々な受け身の形を理解して使いこなすことができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						思考・判断・表現 課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○	
	思考力、判断力、表現力等	教材						主体的に学習に取り組む態度				
	人々が抱しを感じて身近にペットを置く傾向がますます強くなっている。それに対しての意見や考えを述べて、また書くことができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面										
	人とペットが触れ合うことの大切さと、それが果たしている役割について考えていくことができる。またペットを社会で受け入れていくことの大切さを理解できるようにする。そのために何ができるのかを考えさせる。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。										
	定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2
単元 A society with drones	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15	
知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。					
ドローンなどの精密機器に関する語彙力を身に付け理解することができる。分詞構文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						思考・判断・表現 課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○		
思考力、判断力、表現力等	教材						主体的に学習に取り組む態度					
楽しみでも使われているドローンだが、一歩間違えると人間の恐怖になる可能性もある。ドローンの良い点、また悪い点など自分の言葉で述べてまとめることができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面											
ドローンを実際に使ったパロンを調べて、そのメリットやデメリットを考えることができる。また社会で必要とさせる場面を想定して、今後の活用の仕方を考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。											
単元 Cloning cultural properties	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15	
知識及び技能	指導事項						知識・技能 単語テスト、授業での取り組み。					
クローンテクノロジーについての語彙を理解して、また使うことができる。前置詞+関係代名詞の文を理解し、使うことができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						思考・判断・表現 課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○		
思考力、判断力、表現力等	教材						主体的に学習に取り組む態度					
世界で名だる名画の複製についての、賛成反対意見を聞いて、自分の考えを伝えることができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面											
クローン技術の最新動向を調べて、社会の中でこの技術がいかに活用されているかを理解して、今後の生活でどのように利用されるべきかを考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。											
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	記号時数
			朗	読	話[ヤ]	話[英]	書					
3 学 期	単元 Peace messages from Hiroshima	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	戦争や平和に関する語彙を理解して、使いこなすことができる。例題の起きている文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						単語テスト、授業での取り組み。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	世界で唯一の被爆国として、何をすべきかのようなメッセージを発信していくべきかなどの意見をまとめて発表することができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面							主体的に学習に取り組む態度			
	今もなお絶えることのない戦争や紛争について調べさせて、自分たちが平和な世界をもたらすために何ができるか考えて実行に移すことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。							課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。			
	単元 Invigorating our local community	指導項目に対し、次の教材等を活用する。						次の観点別評価規準に従い評価する。				15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	地域活動についての語彙を理解して、使うことができる。省略されているの語句を見つけて、文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組んでいるか。ペアで解答を導き出そうとしたか。						単語テスト、授業での取り組み。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	地域社会がいかに大切かを理解して、地域社会が活性化するためにどのようなことが必要か自分の意見をまとめて発表することができるようにする。	教科書、副教材	○	○	○	○	○	課題の提出状況。ある題材に対して、自分の考えをまとめて発表することができる。	○	○	○	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面							主体的に学習に取り組む態度				
自分たちがいかに地域社会の中で暮らしているのか、またその中で何が重要とさせるのか考えて、今後の行動に移すことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。							課題の取り組み。ペアやグループなどにおける発表。A.L.Tを前にしての発表。				
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2	
											合計	
											140	